



Susono Overseas Friendship Association

SOFA

2016年7月

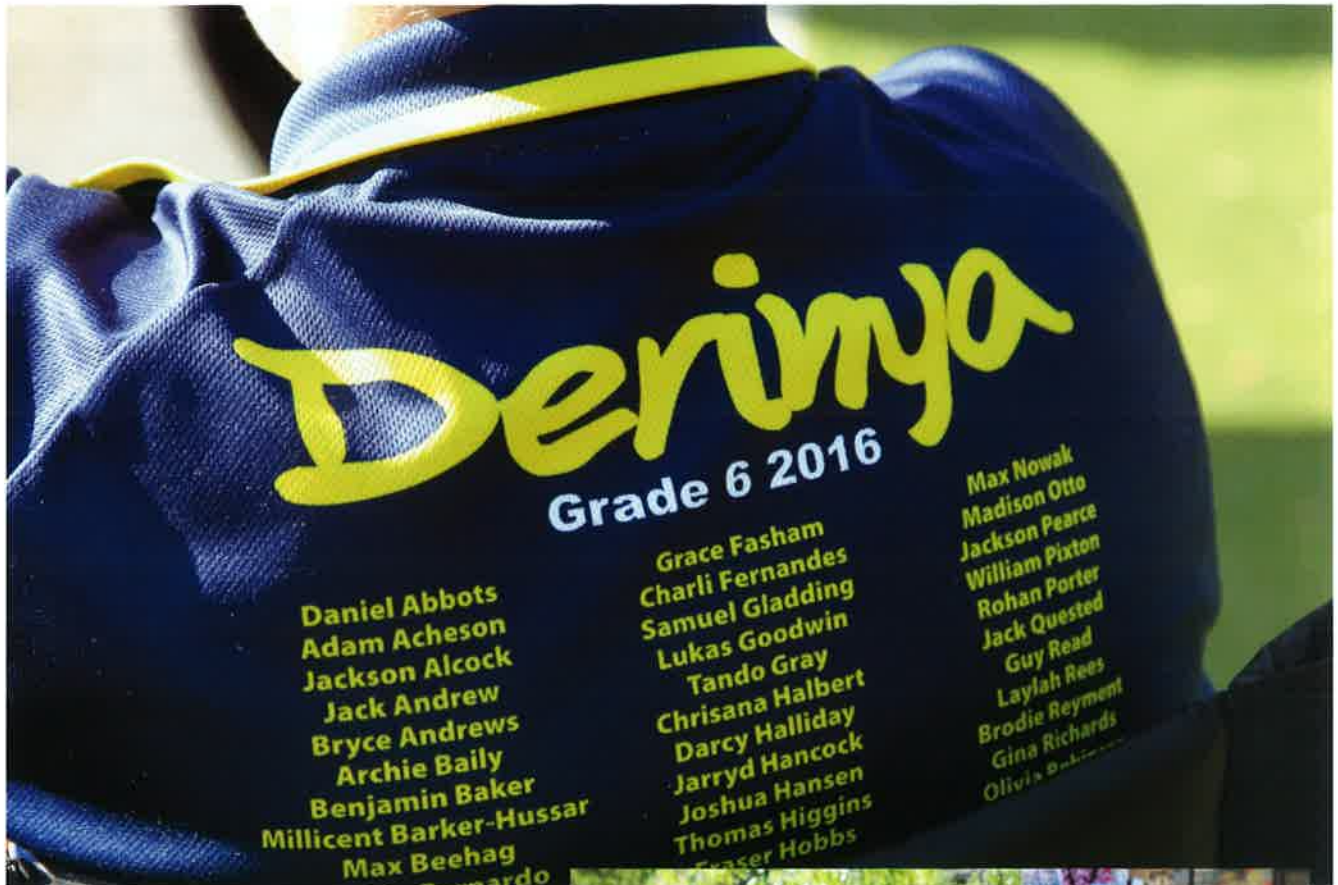
Vol.
77

発行：裾野市海外友好協会 事務局：〒410-1118 静岡県裾野市佐野921-3 TEL/FAX055 (993) 9695

2016 ジャパニーズフェスティバル特集

4月17日に姉妹都市フランクストンでジャパニーズフェスティバルが開かれました。今回はそのフェスティバルに参加するため、高村謙二市長、二ノ宮祥司会長始め、総勢18名が姉妹都市フランクストン市を訪問しました。

今号では、その様子をフォトグラフで紹介します。



デリinya小学校では、各学年ごとに児童の名前が書かれた、おそろいのシャツが制服のようでした。



すそのんといっしょに
「はい ポーズ！」





モーニントン半島からフランクストン市街を望む



モーニントン半島で記念写真をパチリ！アレ？



デリンヤ小学校の校長先生とあいさつをする高村裾野市長



日本語の教科書を掲げる高村裾野市長

4月15日



ゴミなどのお片づけは、低学年の児童もしっかりやります。



日本語もしっかりと書けています。

訪問初日の4月15日にメルボルン空港に到着。いざ、フランクストン市に向かいます。最初は裾野市の短期留学でもお世話になっている、デリンヤ小学校を訪問しました。子どもたちはとてもフレンドリーで、「こんにちは〜」と皆であいさつをしてくれました。デリンヤ小学校で昼食をいただき、午後は交流のあるフランクストン高校に向かいました。フランクストン高校では、日本語の授業の最中で、さっそく授業参観。特に印象深かったのは、教科書には数ページにわたり裾野市が紹介されていることでした。この教科書については、次号以降でも紹介したいと思います。

会長 二ノ宮 祥司



会場となったフランクストン高校には、数千名のフランクストン市民が押し寄せ、盛大に開催されました。

ステージでは、フランクストン高校生のバンド演奏を始め、和太鼓演奏や沖縄民謡、合気道の演武などが行われ、販売ブースでは和風の商品がたくさん売られていました。

私たち裾野市訪問団のブースにもあふれんばかりの市民が次々と訪れて、大忙しの盛況でした。

折り紙や習字、日本の遊び、ヨーヨー、竹トンボ、着物の着付けなど、休んでいる暇もありませんでした。

今回のフェスティバルは行政と協会、そして学校が一体となった大変素晴らしいものであり、フランクストン市民の姉妹都市交流に対する熱い思いを感じた訪問でした。



交流推進委員長 中山 あい子



「ジャパニーズ・フェスティバル」に、市長、市議会議員さんを含めて18名で参加させていただきました。

近隣に在住する日本の方々も参加し、大いに盛り上がり大盛況でした。私たちは、昔の遊び(コマ回し・けん玉・ヨーヨー・折り紙等)、着物体験、日本茶や和菓子など日本の文化を紹介しました。どのコーナーも大人気で大忙しでしたが、市民との交流を深めることができました。

今回、初めて参加させていただきましたが、日本の様々な文化をフランクストン市の人たちに十分理解してもらったことは、交流を円滑に進めていく上でも非常に重要だと感じました。

ジャパニーズ・フェスティバルに参加してくださった皆様本当にご苦労さまでした。



日本茶、和菓子などでおもてなし



フランクストン市ブースの準備中



オーストラリアは秋色でした。



裾野市ブースでの準備



4月16日



訪問2日目の4月16日は会場のフランクストン高校でジャパニーズフェスティバルの準備です。午後はそれぞれホストファミリーとお出かけしたりして過ごしました。

夕方からは三々五々、フランクストンフットボールクラブハウスに皆が集まり、姉妹都市祝賀会が開かれました。

この祝賀会には日本大使館メルボルン総領事羽田恵子さんも駆けつけてくれました。

Japanese Festival

SUNDAY 17 APRIL 2016, 10AM-4PM
Hosted at FRANKSTON HIGH SCHOOL
SENIOR CAMPUS Foot Street Frankston

祭

Activities include:

- Hands-on activities for all the family
- Japanese performances and entertainment
- Japanese handicrafts
- Japanese food and cooking
- Cultural displays
- Goods for sale
- Martial arts
- Sister City displays

Program and Map, overleaf

MESSAGE FROM FRANKSTON CITY MAYOR-COUNCILLOR JAMES DOOLEY

In 1982, Frankston and Susono City (Japan) entered into a Sister City relationship. We welcome Mayor Takamura and the delegation members to Frankston.

Frankston City is proud to be a multicultural community; it is wonderful to have such a long-standing relationship with Susono that enables us to learn, share and expand our horizons.

Thank you to all the local schools and local stall holders taking part in the Frankston Susono Friendship Association 2016 Japanese Festival; you are the future of the Frankston-Susono relationship.

Please enjoy the festivities.

Presented by Frankston Susono Friendship Association on behalf of Frankston City Council

訪問3日目の4月17日はいよいよジャパニーズフェスティバルの当日。会場となったフランクストン高校では、メインステージ部門、マーケット部門、飲食部門で数千人の市民で賑わいました。

メインステージ部門では、オープニングセレモニーが始まった後、沖縄音楽グループ、合気道、和太鼓、フランクストン高校のバンド演奏、日本武道など多くの演目が披露されました。

私たちの裾野市ブースでは、ヨーヨー、和菓子とお茶のサービス、竹トンボ、新聞紙でかぶと作り、書道コーナー、裾野市の絵葉書配布など、こちらも多くの市民で賑わいました。

また、パンフレットには、前回訪問した裾野五竜太鼓の秋山さんの写真で飾られ、祭りが案内されていました。



近くに住む日本人会では和太鼓を披露していました。

会場の入り口は日本式の鳥居でお迎えしました。



フランクストン市長 ジェームス ドーリーさんのメッセージ

「1982年にフランクストン市と裾野市は姉妹都市提携をしました。本日は高村謙二裾野市長並びに友好訪問団の皆さまを歓迎いたします。今まで、様々な形で共有し、視野を広げ、このように長期的な関係を持てることは素晴らしいことです。フランクストン市として多文化共生体として誇りに思っております。本日は地元の学校始め多くの皆さま、フランクストン裾野友好協会の将来と、2016ジャパニーズフェスティバルの開催に感謝申し上げます。このフェスティバルをお楽しみください。」



あいさつする
ジェームス ドーリー
フランクストン市長

通訳は元交換留学生で
デリンヤ小学校教諭の
テレーズさん



SOFA



新聞紙でかぶと作り



さっそく
フランクストン高校の
日本庭園でパチリ



着物体験コーナーも人気でした



ダルマ落としも人気でした



日本茶と和菓子で
おもてなし



ジャパニーズフェスティバルの公式記念行事



フランクストン ジェームズ市長から高村市長に
写真パネルが贈られました。



英語名の名前を漢字に



祭りだ ワッショイ



フランクストン協会のメンバーが受付をしています。
カメラを向けるとこんなポーズ! 笑
見ざる言わざる聞かざる!?

"see no evil,
hear no evil,
speak no evil."



ラグビーボールをフランクストン市長に渡す、所さん

裾野市ラグビー協会会長 所 憲之さん

今回のフランクストン市への訪問は、2003年の静岡国体も終えて市役所の玄関に飾ってあるラグビーボールをどこから頂いたのかな、が始まりです。

フランクストン市へは、最初ホームステイ先との事で余裕もなくラグビーをやっていた程度でした。

2回目、3回目はシーズンオフの時期に行ったのと、メルボルンで開催しているオージーボールが人気であることを知りました。

今回は19年のラグビー W杯や20年の五輪の誘致(姉妹都市)や海外友好協会との関連も含めボールを持って行きました。

フランクストン市長へボールを渡す機会を設けて頂いた後に、高村市長へ次のメールが届きました。

フランクストン市長 ジェームズ・ドゥーリー氏とラグビー協会のケン・ディクソン(Ken Dixon)氏からのメール:

「当クラブは、裾野市とのラグビー交流に関して、大変関心があります。サザンディストリクトラグビークラブ(Southern Districts Rugby Club)には、2人の日本人プレーヤーがいました。(堀江翔太 稲垣啓太)彼らはレベルス(Rebels)で、プレーしていましたが、レベルスへ正式加入するまでは、サザンディストリクトラグビークラブでもプレーしていました。彼らは現在新しいスーパー18ラグビーチームのサンウルヴス(Sun Wolves)でプレーしています。今季の我々のシニアコーチは長年日本でコーチをしていて、ちょうど戻ったばかりです。彼は日本語も流暢です。また、情報がありましたら、すぐにご連絡いたします。」

2016年度総会が開かれました。



市民への交流活動の浸透に協力を呼びかける二ノ宮会長



総会の様子



総会の席上、英会話講師のソリンさんと奥様のミレラさんを紹介しました。

私たち海外友好協会の2016年度総会が、5月29日、市民文化センターで開かれました。総会では2015年度事業報告・決算報告、2016年度事業計画・予算案、役員改選が行われました。

開会にあたり、二ノ宮祥司会長が今回のフランクストン市への訪問を振り返り「フランクストン市では行政、学校、民間、協会が連携して交流が根付いています。裾野市をみると、どうでしょうか。裾野ではこうした姿や取り組みはほとんど見られません。また、姉妹都市交流そのものが広く市民に認識されているとは思えません。これはもちろん私たち協会の努力がまだまだ足りないことの証でもあろうかと思えます。それと同時に裾野市とフランクストン市の行政、そして学校サイドの考え方、取り組み方が根本的に違っているのではないかなと感じました。姉妹都市交流というのは、協会と協会の交流ではありません。やはり、姉妹都市ですから、市と市民ここが主体となって交流していくことが基本であろうと考えております。」とあいさつしました。



- 【会 長】 二ノ宮祥司 【副会長】 増山 好子 【事務局長】 勝又喜久男
- 【交流推進委員長】 中山あい子 【同副委員長】 増田 隆俊 【情報ネットワーク委員長】 廣瀬 篤
- 【多文化共生委員長】 杉山 利博 【同副委員長】 佐野由美子
- 【会 計】 柳田 敏也 【監 事】 勝又 信光、飯塚 秀男



Susono Overseas Friendship Association



日韓交流10周年記念コンサート



今回も韓国からダンスと太鼓のグループが参加して、素晴らしいパフォーマンスをご披露いたします。ぜひ、皆様お誘い合わせになって、お越し下さい。

- 日時／平成28年8月20日(土)
午後1時開場
- 会場／裾野市民文化センター

編集
後記



今号はいつもよりページ数を増やしての発行となりました。この記事を通して、これからの姉妹都市交流について、お考えいただき、新たな企画をお寄せいただければ幸いです。

編集者 hi-rose